

乳房血管肉腫の分子病理学的検索を目的とした多施設共同研究

1. 研究の対象

2002年1月～2020年10月に千葉県がんセンターで乳腺血管肉腫の治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

乳房血管肉腫は乳房領域に生じる極めて稀な悪性腫瘍です。原発性、放射線治療後の二次性に大きく分類されますが、現状ではいずれも予後不良です。各医療施設で経験することが稀なうえ、病理診断が難しい例があり、国内外で大規模な臨床病理的、分子生物学的検討は、ほとんど行われていません。

本研究では、JCOG乳がんグループ参加施設より乳房血管肉腫の症例を集積し、病理学的評価を行い、臨床病理学的な予後予測因子や化学療法に関する感受性予測因子を明らかにすることを目的とします。また付随研究によって、新規バイオマーカーや治療標的分子の発見を目指します。研究実施期間は2022年2月28日から2023年3月31日を予定しています。

予後予測因子や最適な化学療法のレジメンが、多施設のまとまった数の調査研究によって明らかにされれば、今後の治療開発研究につながり、患者予後を全体的に向上させる手立てを見いだせる可能性があります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：既往歴、がんの治療歴、外科療法の種類、術後薬物療法の種類、患者予後、病理組織診断、カルテ番号、生年月日等

試料：生検や手術で摘出した組織等

4. 外部への試料・情報の提供

研究事務局である国立がん研究センター中央病院 病理診断科への情報、試料の提供は、匿名化したうえで特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。病理番号、カルテ番号、生年月日、氏名は外部機関には提供いたしません。試料には匿名化番号のみ貼付けし対応表を作成します。この対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織および施設研究責任者

国立がん研究センター中央病院乳腺外科	首藤 昭彦
愛知県がんセンター中央病院乳腺科部	澤木 正孝
聖路加国際病院プレストセンター	林 直輝
がん研究会がん研有明病院 乳腺外科	上野 貴之
岡山大学病院乳腺・内分泌外科	枝園 忠彦
国立病院機構大阪医療センター外科	増田 慎三
自治医科大学附属病院乳腺科	藤田 崇史

北里大学病院乳腺・甲状腺外科	仙石 紀彦
近畿大学医学部附属病院乳腺・内分泌外科	菰池 佳史
千葉県がんセンター乳腺外科	山本 尚人
筑波大学附属病院乳腺・甲状腺・内分泌外科	坂東 裕子
名古屋市立大学病院乳腺外科	近藤 直人
国立病院機構九州がんセンター乳腺科	徳永 えり子
国立病院機構北海道がんセンター乳腺外科	高橋 将人
群馬県立がんセンター乳腺科	藤澤 知巳
昭和大学病院ブレストセンター	明石 定子
国立病院機構福山医療センター乳腺・内分泌外科	三好 和也
国立がん研究センター東病院腫瘍内科	向原 徹
北九州市立医療センター外科	阿南 敬生
岩手医科大学医学部外科学講座	小松 英明
大阪国際がんセンター乳腺・内分泌外科	中山 貴寛
横浜労災病院乳腺外科	千島 隆司
虎の門病院乳腺・内分泌外科	川端 英孝
国立病院機構四国がんセンター乳腺外科	大住 省三
国立病院機構四国がんセンター乳腺外科	青儀 健二郎
埼玉県立がんセンター乳腺腫瘍内科	井上 賢一
埼玉県立がんセンター乳腺外科	松本 広志
静岡がんセンター乳腺外科	高橋 かおる
秋田大学医学部附属病院乳腺内分泌外科	南谷 佳弘

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

千葉県がんセンター乳腺外科 山本尚人（研究責任者）

連絡先：千葉県千葉市中央区仁戸名町 666-2 電話(代表) 043-264-5431

研究代表者：

愛知県がんセンター 乳腺科 岩田 広治

連絡先：名古屋市千種区鹿子殿 1-1 TEL：052-762-6111